

登録コード:MH196200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	家族看護論【22M以降】 Family Nursing		
担当教員	石田 史織 五十嵐 久人		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/2年 後期 後期(前半) 月曜・4時限 火曜・3時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科311講義室 多目的講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		家族支援に関わる理論やモデルを活用した家族のアセスメント手法を理解する。
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		家族の健康課題とその解決方法を理解することができる。
授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	家族を看護の対象として捉え、家族のセルフケア機能を高めるために必要な家族看護の基本的な考え方や支援方法を学ぶことに加え、子育てや介護などの家庭生活に係る男女共同参画の在り方や、社会における制度や慣行による男女の社会活動に及ぶ影響について考え学びを深めることを目的とします。また、担当教員の地域保健活動における保健師としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は、2年次以降に学ぶ看護学系の専門科目の基礎となるものです。		
授業計画	第1回(9月28日) 家族とは(家族の歴史、定義、家族に関する国際比較) 家族の基本(構造、機能)、ジェノグラム・エコマップの描き方と活用 第2回(10月 5日) 現代の家族を取り巻く社会状況と家族を支える社会体制の現状と課題 グループワーク/プレゼンテーション 第3回(10月14日) 家族を理解するための理論 (家族発達理論、家族システム論、家族ストレス対処理論) 第4回(10月19日) 小テスト 家族看護過程の展開 (家族アセスメントモデル・家族支援モデル) 第5回(10月26日) 家族看護過程の展開 (家族を対象とした支援計画の立案と評価) 第6回(11月 2日) 理論を活用した事例学習 グループワーク 第7回(11月 9日) 事例学習プレゼンテーションとまとめ、授業アンケートの実施 第8回(11月16日) 筆記試験		
授業の進め方	講義は、講義資料に基づいて進めていきます。また、授業の中でグループワークやプレゼンテーション、同じ机に座っている人同士のディスカッションの機会があります。 資料をe-Alpsにupしますので、必ず印刷または自分のPCにダウンロードなどして確認できるように準備してください。 事前に課題を出すことがあります。準備して授業に臨んでください。 本授業は、2年次以降に学ぶ専門科目の基礎となるものです。		
テキスト、教材、参考書	【参考書】 家族看護学 理論と実践第5版；鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子 日本看護協会出版 家族アセスメントpart ジェノグラム・エコマップの描き方と使い方；小林奈美 家族看護学 家族のエンパワーメントを支えるケア；中野綾美、瓜生浩子 家族生活力量モデル アセスメントスケールの活用法；家族ケア協会		
成績評価の方法	講義参加状況(講義時の発言・コメント内容・ディスカッションへの取り組み)10%、プレゼンテーション10%、レポート課題10%、筆記試験60%、小テスト10%で評価します。ただし、筆記試験は100点満点で60点以下は不合格とします。 小テストは、予習もしくは復習による学習到達度の確認のため授業開始時に行います。グループワークは、事前にテーマを与えますので、各自で課題に取り組んだのち、4～5名のグループに分かれ授業以外の時間において情報集や討論を行いグループとしての回答をまとめて発表してもらいます。		
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」レポートも同様の基準です。 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良79 - 70点 可69 - 60点		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業の終わりに、次回の授業までに予習しておくべき内容を指定します。 【事後学習について】 前回の授業内容について質問するので、端的にわかりやすく説明できるように準備して授業に臨んでください。		

事前事後学習の内容	尚、レポートは、事前学習または事後学習として提示します。 授業の資料は事前にeALPSにUPするので、各自印刷して持参してください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+ 自己学習時間30時間（4時間×7.5回）= 45時間 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	質問や相談については、授業後あるいは教員のメールアドレスを確認しメールしてください。 質問への対応：石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー： 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 石田史織研究室